

喜来小学校
「学力向上実行プラン」

自ら課題を探し、解決していこうとする子どもの育成

学力向上推進員	委員
伊賀　タ希子	1年担任:新治美樹　2年担任:森俊文 3年担任:大藪賢一　5年担任:郡凱 6年担任:筒井亜耶 特別支援学級:池下友舞・吉田芳

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

管理職や教員相互による授業参観や教員からの報告等，様々な機会を捉え，取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して，最後まで真面目に取り組むことができる。 ●基礎的な学習内容の定着における個人差が大きく，語彙が少ないため，聞くこと・話すこと・書くことを苦手とする児童が多い。	・読み・書き・計算などを大切にし，基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・学習過程で習得した知識を他教科や生活の場において活用することができる。	・AIドリルや小テストを活用しながら，漢字・計算の学習を計画的に行うことで，定着度を確認しながら復習できるようにする。 ・読書活動の充実を図る。 ・教育活動を教科横断的な視点で計画し，展開する。 ・様々な型の問題に触れ，活用問題を解く機会を増やす。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペアやグループなどの少人数の場では自分の意見を伝えられる児童が多い。 ●問題を読み取る力や根拠を明らかにして表現する力に課題がある。	・正確に文章を読んだり，書いたりすることができる。 ・自分の考えを，根拠や理由を明らかにし，筋道を立てて，相手に分かるように表現することができる。	・比較して読む，条件をもとにして書くなど，内容に応じた視点をもたせることで，言語活動の充実を図る。 ・個人で考える時間を確保し，小集団で話し合い，全体に発表するという段階をふむことで，自分の考えを表現したり，互いの意見を伝え合ったりすることができるようにする。 ・ICT等のツールを効果的に活用することで，様々な表現方法や発表形態を身に付けられるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○きまりを守って学習に取り組んでいる児童が多い。 ●進んで課題を見つけ，追求しようとする意欲や，粘り強く挑戦しようとする態度が十分に育っていない。	・学習に主体的に取り組む，自ら課題や問題点を見つけ，進んで考え，学ぶ楽しさや喜びを感じることができる。 ・苦手な学習課題に対しても，粘り強く取り組むことができる。	・問題解決的な学習ができるよう，児童の思考の流れを意識して，単元構成を考える。 ・学んだことを振り返る場を設定し，課題解決の達成感や次の問題意識をもたせる。 ・自主学習の取組を教室に掲示し，学びを共有することで，個人の学びの充実を図る。			

令和6年度　学力向上ロードマップ

